

吐山地域学校規模適正化検討協議会ニュース 第8号

平成 28 年 5 月

吐山地区検討協議会/奈良市教育委員会事務局教育政策課

平成 28 年度の 4 校区の学校規模適正化検討協議会（以下、「協議会」）が始まりました。少子化が進行する中で都祁地域の 4 小学校を統合再編することについての協議が行われ、昨年度は統合再編校舎の増築・改修の設計が行われ、現都祁小学校校舎の工事期間となる 2 学期以降、都祁小学校の児童は、都祁中学校で学習することになります。今年度は統合再編に関係者のコンセンサスを得ながら、具体的な課題について話し合いを行う重要な年となります。

【協議会概要】

5 月に 4 校区の協議会が開催され、都祁中学校区における学校規模適正化のこれまでの経緯や、今年度取り組み方等について、市教育委員会事務局から説明があり、意思疎通が図られました。

（吐山校区：5 月 20 日（金）開催）

1. これまでの経緯について

都祁中学校区の学校規模適正化については、平成 23 年の自治連合会への説明をスタートとし、保護者や教職員への説明を経て、平成 26 年度に並松、都祁、六郷校区、平成 27 年度に吐山校区で協議会を立ち上げて、協議をいただいてまいりました。

昨年度は、校舎打ち合わせ会のご意見を参考に校舎図面を作成しました。今年度は、平成 29 年度の統合再編校開校に向け、統合再編校の校舎増築・改修の工事と同時に周辺整備が始まります。

2. 都祁地域学校規模適正化検討協議会代表者会議(案)とこれからのスケジュール(案)について

今年度は、統合再編校の校舎増築・改修の工事とともに、統合再編校での児童の学校生活に関わる様々な内容について協議・決定していく必要があります。これには、各校区で考えていくべきものや、4 校区が足並みを揃えながら話し合っていくべき内容があります。

統合再編に向けての課題

- | | | | | |
|-------------|-------------|---------|-----------|-------|
| [学校] | ①教育課程・ビジョン等 | ②学校組織等 | ③備品 | ④校舎改修 |
| [地域+学校] | ⑤地域連携 | | | |
| [地域] | ⑥跡地利用 | | | |
| [PTA+学校] | ⑦PTA組織 | ⑧バンビー | | |
| [PTA+地域+学校] | ⑨学用品等 | ⑩スクールバス | ⑪校名/校歌/校章 | ⑫引越 |

そこで、これまでの 4 校区での協議会に加え、各協議会の代表者が集まり、4 校区の共通のテーマを協議していく場として、都祁地域学校規模適正化検討協議会代表者会議（以下、代表者会議）を開催します。現在のところ、協議のテーマとして、「スクールバス」や「校名」などを予定しています。なお、第 1 回の代表者会議は、6 月に開催を予定しています。

この 1 年間、代表者会議と各校区の協議会において役割分担をしながら、統合再編に向けた準備を進めていきます。

3. 小学校跡地の利用について（FM 推進課）

奈良市では、平成 26 年度に策定した「奈良市公共施設等総合管理計画」に基づき、これから 40 年間で市の施設を 30%削減する方向で取り組んでいきます。統合再編後の小学校跡地利用については、現在、小学校を避難所として指定していることも勘案しながら、この計画に沿って検討していくこととなります。具体的なスケジュール等は未定です。

- | | |
|--------|-----------------------------------|
| ステップ 1 | 公共施設としての転用や、近隣施設との統廃合の検討 |
| ステップ 2 | 地域の要望に沿った利活用の検討（奈良市が運営主体/地域が運営主体） |
| ステップ 3 | 地域を越えての利活用案の公募 |
| ステップ 4 | 売却等 |

なお、新年度を迎え、一部委員の変更、設置要項の改正（副会長 3 名制）を行いました。

【協議会での質疑応答及び意見】（○：協議会委員、⇒：市教委、△：吐山事務局）

これまでの経緯について

- 増築校舎において、災害などで避難する場合の安全性はどうなるのか。
- ⇒1階部分については、廊下側からの避難に加え、運動場側からの避難も可能です。また、2階部分につきましては、廊下側に加え、ベランダを通して避難することが可能となっています。
- 増築校舎建設部分にガラが埋まっているというが、こんな設計でよいのか不安である。また、その調査や工事の児童の安全確保は大丈夫か。
- ⇒ガラについてはこれから調査を行い、事前工事を行います。また、その調査や事前工事期間中の児童の安全は、しっかりと確保してまいります。
- 校舎増築改修工事に関わって、心配する意見が出されているが、バンビー増築などもあるので安全対策に遺漏がないようにしていただきたい。

都祁地域学校規模適正化検討協議会代表者会議(案)とこれからのスケジュール(案)について

- 統合再編のスケジュール表の各項目において、この12項目でよいのかどうか、市教委の考えと他の関係者との考えは、まだ必ずしも一致していない。前段の整理が必要である。教育委員会内での担当課を決めているのか。
- ⇒教育委員会内でスケジュール表を共有し、担当する課を決めています。
- 課題の中もいろいろで、学校ビジョンは全体の中で話し合う必要がある。教育課程については学校の先生方が決められることであるが、地域教育の内容については、地域関係者も関わっていく内容にしていくものだと思う。地域コーディネーター同士の連携もまだない状態である。
- ⇒関係者が話し合う場の設定など、工夫しながら進めてまいりたいと思います。
- 統合後の地域連携はどうなるのか。
- ⇒統合後の地域連携活動につきましては、現在の枠組みを基本に、各地域での取組を踏まえながらどんな活動が可能なのかを協議してまいります。
- 検討課題、検討方法・手順等全体の意思疎通を先に図っておかないと、急ぐものからテーブルに載せるやり方はまずい。“都祁ならではの学校づくり”ビジョンが論議されないままに再編はできない。
- まだ、4小を再編してどんな学校をめざすのか何の話も聞いていない。子どもや地域にとってどう良くなる話が理解できていないのに性急すぎる感があり、ついていけない。そんなに急がなければならない理由が解らない。
- ⇒都祁地域の再編計画は、平成23年度から申し上げていることで、唐突なことではなく、ご理解頂きたいと思います。
- △市教委計画は20年度に示され、23年度からの対象にはなってはいたが進まず、今の流れは26年度から作られたもので、文科省の動きで加速化された感もあり、唐突の感があるのは否めないと思う。
- 代表者会議を、4つの校区をつなげるような場にしてほしい。
- ⇒市教委といたしましても、同様の考えを持っております。4校区が同じ場に集まる場を設定することにより、4校区がさらにつながっていくものと思います。

小学校跡地の利用について

- 小学校が避難所として指定されているが、統合後はどうなるのか。
- ⇒避難所につきましては、統合後の跡地活用の方法とあわせ、地域の皆様のご意見をいただきながら、市の関係各課において地域の皆様の安全を最優先に調整を進めてまいります。
- 学校は子供の教育の場であると同時に、地域で子供を育む拠点であり、避難所、地域住民の安全安心なまちづくりや絆づくりの場であると思うので、跡利用は大きな課題であると考えている。現段階で、地域の意見を聞くスケジュールは決まっているのか。
- ⇒先述の基本的な進め方はあるが、まだ、スケジュール等は決まっていない。(FM推進課)
- △設置要項の説明で申し上げたとおり、跡利用の大枠の話合いは、再編期日確定までの課題と考えている。

【その他】

☆代表者会議出席者の選任

代表者会議への出席者として、協議会会長である中島氏、地域代表者として保仙氏（協議会事務局長）と草尾^佳氏（元小学校教員）、PTA代表として皿木氏（PTA会長）と巽氏（PTA副会長）を選任。

☆跡利用に関する地域の意見の取りまとめについて

跡利用に関する地域の意見を取りまとめます。地域にとって大きな課題であり、地域のみなさんのご意見を伺う手法として、自治連合会（自治会）、吐山小学校後援会、吐山小学校PTAの3団体で進め、集約する予定。